

ccNSO関連報告

ICANN報告会

2009年7月23日

株式会社 日本レジストリサービス (JPRS)

堀田 博文 hotta@jprs.co.jp

ccNSO会合アジェンダ(1)

- 6月22日(月)
 - 09.00-15.30 ccNSO Tech Day
 - 11.00-11.45 新規参加/久しぶり参加ccTLD向けガイダンス

ccNSO会合アジェンダ(2)

については、内容を報告

- 6月23日(火)
 - 09.00-09.15 ICANNイシュー紹介
 - 09.15-10.00 ccTLD関連のICANN費用について 1
 - 10.00-10.45 ICANN理事会アップデート
 - 11.00-11.30 IANAアップデート
 - 11.30-11.50 Domain Name Front Runningについて
 - 11.50-13.00 法執行機関との関係について 2
 - 14.15-14.45 ccNSO組織レビュー開始について
 - 14.45-15.00 ccNSO/GAC合同WGからの状況報告
 - 地域WGからの状況報告
 - 技術WGからの状況報告
 - プログラムWGからの状況報告
 - 15.00-15.30 地域ccTLD連合組織アップデート
 - 15.45-17.30 ICANN Strategic and Operational Planについて

ccNSO会合アジェンダ(3)

- 6月24日(水)
 - 09.00-10.45 IDN ccTLD Fast Track, IDN ccTLD PDPについて 3
 - 11.00-11.30 IDN対応レジストリ技術について
 - 11.30-13.15 サービス継続計画について 4
 - 14.15-15.00 フェローシップ参加者からの各ccTLD状況報告
 - 15.00-15.30 ccNSO選出理事からの報告

 - 16.00-17.00 ccNSO Council 会合

1

ccTLDレジストリからICANNへの支払い

- 従来

ccTLDレジストリは、現在、自主的に支払額を決めて支払っている(含:ゼロ)

自主的な支払額決定の一つの理由は、ICANNの全費用の中でccTLDのために使っている費用が分析・情報提供されていないこと

- 今回

ICANNは、これまでにその分析を進めてきた

ccTLDに関わる費用は900万ドル(全体の16.7%)という分析結果を公開した

- 今後

この分析の妥当性、額の妥当性を議論した上で、総額をccTLD間でどう分担していくかの議論に入る。

2

法執行機関との関係

- **背景**

ドメイン名レジストリの基本スタンスは、「ドメイン名レジストリはコンテンツに関わるべきでない」

サイバー関連の犯罪増加等により、先進国を中心に、インターネット上のコンテンツに対する法的整備が必要になっている/進んでいる

法に基づく執行の機会も増えてきている(ドメイン名も執行の法対象になることがある)

- **今回の議論**

ドメイン名レジストリも、何らかの役割を前向きに果たしていくべきであろうという機運が出てきている

- 社会活動を支える組織としての責務
 - 自主的に安全な状況を作り出さないと、規制法がどんどん出てくる
- 各レジストリの状況紹介

3

IDN ccTLD Fast Track関連の論点

• 論点

- (1) レジストリとICANNとの契約を必須とするか
- (2) ICANNへの支払いを必須とするか

• 議論経緯

解決に向けて、これまで、ICANNにおいて、IDN ccTLDに関わる費用の分析と見積りが行われ、ICANNシドニー会合前に資料として公開された

シドニー会合では、その資料に基づき、さらに議論が進められた

(主な議論内容は次ページ以降)

レジストリとICANNとの契約を必須とするか

• 従来

ICANNは、形式的に重い契約行為(両者署名)を必要とするDoR (Documentation of Responsibility)を提案

GACやccNSOの意見: DoRを強制すべきでない

• 今回

ICANNは、IDN ccTLDレジストリ候補者が提出する申請書様式に、「標準仕様および関連ガイドライン等を守ります」というチェックボックスを設け、申請者がそれにチェックすることを提案

• 議論

申請時の合意に関しては上記で合意可能と思われる

レジストリが遵守項目を継続的に守っていない場合に委任 (delegation) を取り消すことができるようにするための仕掛けをどう作るか、に議論が移っている

ccNSOでは、今も「DoR契約を締結するか否かはccTLDレジストリが自発的に決められるべき」という意見がコンセンサスとなっている

ICANNへの支払いを必須とするか

• 従来

ccNSOの意見は、「IDN ccTLDレジストリがICANNに必要な費用を支払うことの前提として、ICANNは費用を明確にすべき」
費用分析がICANNの宿題となっていた

• 今回

ICANNから費用見積りが出た

- IDN ccTLD Fast Trackのこれまでの検討に関わる費用が300万ドル
- 1件あたりのIDN ccTLD申請に関わる処理2万6,700ドル

これらコストを回収するため、ICANNからの提案では、

- 申請料は2万6700ドル程度
- 年料金は、登録数5万以上の場合：収入の3%
登録数2万以上5万未満の場合：収入の2%
登録数2万未満の場合：収入の1%

• 議論

ccTLD：自発的でかつ少額の支払いであるASCII ccTLDの状況に鑑み、IDN ccTLDにおいても強制すべきでない、絶対額が大きい

ICANN：年料金はccTLDが自主的に支払い額を決めて可、と発言

4

サービス継続計画

- **背景**

H1N1インフルエンザ発生等も契機となり、ccTLDにおいても、災害や感染症の発生時に事業およびサービスを継続することの重要さの認識が進んでいる

各ccTLDで事業継続計画策定、計画の実働性検証、などを行うレジストリが増えている

- **今回の議論**

各ccTLDレジストリの状況紹介

Q & A